

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人

チャイルドファーストジャパン

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、原則として、昨年度の実業内容を継続した。従って、主たる事業は、ケースワーク事業、子どもの権利擁護センター事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業であった。

今年度もこれを継続した。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業は、昨年度に引き続き、神奈川県の実業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティによる RIFCR™ 研修を継続した。

Gundersen National Child Protection Training Center (GNCPTC)が米国において、2014年にChildFirst™をChildFirst®として正式に商標登録したことに基づき、ChildFirst Japanも平成26年度(2014年度)ChildFirst™ 司法面接プロトコルをChildFirst® 司法面接プロトコルに改訂して、今年度も司法面接研修を継続した。

また、平成27年2月7日に『子ども権利擁護センターかながわ』を開所したことに基づき、それまでは社会福祉法人子どもの虐待防止センター(東京)に協力する形で実施していた虐待被害児診察技術研修を平成27年度から当法人の実業としても開始し、今年度も継続した。

なお、これら、ChildFirst Japan 研修事業は、特定非営利活動に係る実業会計と切り離し、ChildFirst Japan 特別会計で管理した。このChildFirst Japan 特別会計は、特定非営利活動に係る実業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型ChildFirst® 司法面接研修とセンター型RIFCR™ 研修およびセンター型虐待被害児診察技術研修を特定非営利活動に係る実業とし、地方自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型ChildFirst® 司法面接研修と出前型RIFCR™ 研修および出前型虐待被害児診察技術研修を収益事業とした。

これによって、収益事業を、一般会計収益事業とChildFirst Japan 特別会計収益事業の二つに分けることとした。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る実業

①子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力する事業。
- ・日 時 虐待・ネグレクトの事例が発見され、個別ケース検討会議の必要が生じたときとしているが、今年度の実施はなかった。

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 2人
- ・対 象 者 当該事例に関わっている支援者および当法人の電話相談員、計4人

イ 子どもの権利擁護センター事業

- ・内 容 平成27年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日 時 平成30年 5月 2日(水)午後
平成30年 8月29日(水)午後
平成30年11月 7日(水)午後
平成30年11月21日(水)午後
平成30年12月 5日(水)午後
平成31年 1月16日(水)午後
平成31年 3月20日(水)午前
平成31年 3月20日(水)午後
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として1日に1人ずつ

②子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

ア 苦情相談

- ・内 容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政への提言を行った。
- ・日 時 通年、週2回(月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトに関して行政機関を利用した者

③研究・研修事業

ア 研修会

- ・内 容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会の開催
- ・日 時 第80回 平成30年 5月20日(土)(講師;CFJ理事長 山田 不二子)
第81回 平成30年 8月25日(土)(講師;CFJ副理事長 田中 哲)
第82回 平成30年10月27日(土)(講師;CFJ理事長 山田 不二子)
第83回 平成31年 2月 3日(日)(講師;CFJ理事 青木 豊)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室、神奈川県総合医療会館
- ・従事者人員 約10人

- ・対象者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
- ・参加者 各回14～47人（述べ136人；会員34名、非会員93名、学生9人）

イ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内容 『虐待相談かながわ』の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動ボランティアを養成するための講座を開設した。
- ・日時 平成30年4月～7月
基礎講座 2時間30分×4回（4月19日、26日、5月10日、17日）
講師；理事長 山田 不二子
実践講座 3時間×3回（5月23日、30日、6月6日）
指導者；この法人の電話相談員6人
応用講座 2時間30分×4回（6月21日、28日、7月5日、12日）
講師；理事長 山田 不二子
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 1～10人
- ・対象者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参加者 基礎講座15人、実践講座5人、応用講座2人

ウ 『CAC かながわ』ケース・カンファレンス

- ・内容 司法面接者の技術向上のため、『子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ』で実施した司法面接の録画ビデオを使って面接内容等を検証するピア・レビュー。
- ・日時 適宜実施することとしているが、今年度は実施しなかった。
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 4～6人
このうち、理事長 山田 不二子はスーパーバイザー
- ・対象者 この法人の『子どもの権利擁護センターかながわ』司法面接者

エ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内容 通告義務者向けの聞き取り研修
- ・日時 横浜会場（神奈川総合医療会館）
平成30年 4月14日（土） 参加者：35名
平成30年 6月24日（日） 参加者：37名
平成30年 8月19日（日） 参加者：40名
平成30年12月 8日（土） 参加者：38名
平成31年 3月 9日（土） 参加者：36名
名古屋会場（ウィルあいち 愛知県女性総合センター）
平成30年 7月 7日（土） 参加者：31名
平成30年11月 3日（土） 参加者：36名
名古屋会場（ウインクあいち 愛知県産業労働センター）
平成31年 2月23日（土） 参加者：37名

三重会場（じばさん三重）

平成30年 8月25日(土) 参加者：40名

新潟会場（シティホールプラザアオーレ長岡）

平成30年 7月29日(日) 参加者：25名

宮崎会場（南九州学園宮崎キャンパス）

平成30年11月24日(土) 参加者：34名

- ・場 所 神奈川総合医療会館、ウィルあいち愛知県女性総合センター、ウインクあいち 愛知県産業労働センター、じばさん三重、シティホールプラザアオーレ長岡、南九州学園宮崎キャンパス
- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR™ ファカルティー 各回3～4人
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参 加 者 各回25～40人（延べ389人）

オ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接（調査・捜査のための聞き取り）の研修。研修プロトコルは、GNCPTC（Gundersen National Child Protection Training Center）が開発した ChildFirst® 司法面接プロトコル。
- ・日 時 第1回；平成30年 5月23日(水)～27日(日) 参加者：20名
第2回；平成30年 7月12日(木)～16日(月・祝) 参加者：20名
第3回；平成30年 9月20日(木)～24日(月・祝) 参加者：20名
第4回；平成30年12月20日(木)～24日(月・祝) 参加者：20名
第5回；平成31年 2月 7日(木)～11日(月・祝) 参加者：20名
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
および1階 面接室と観察室
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー（ChildFirst® 司法面接研修 GNCPTC 認定トレーナー）8人
- ・従事者人員 8～10人（このうち、8人は ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー）
- ・対 象 者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人（延べ80人）
- ・参 加 者 各回20人（延べ100人）

カ センター型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官や将来、子どもの権利擁護センター(CAC)の職員として活動する可能性のある職専門職を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指した。
従来の1日型研修に加え、今年度より、遠方からの受講者に配慮した2日型研修を創設した。
- ・日 時 1日型：
平成30年 8月26日(日) 参加者：13名

平成30年 9月30日(日) 参加者：10名
2日型：

平成30年 6月30日(土)～7月1日(日) 参加者：12名

平成30年10月 6日(土)～7日(日) 参加者：9名

計4回

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 2人 (このうち、1人は理事長 山田 不二子)
- ・対 象 者 前半講義のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員14人
前半講義及び後半講義と実技参加；医師、助産師、看護師等医療者および
MDT コア・メンバーとなる職種 (児童福祉司、警察官、検察官、CAC 職員)
- ・参 加 者 各回9～13人 (延べ44人)

キ 在宅支援技術研修

- ・内 容 「子育て世代包括支援センターと地域子ども家庭総合支援拠点」をテーマとして、市区町村職員 (児童福祉担当、母子保健担当、障害福祉担当、生活保護担当、DV 担当、教育委員会等) 民生児童委員、保育士、学校の教職員など、在宅支援にあたる職種間がお互いの役割や活動を相互に理解し、情報共有と連携協働の方法論を学ぶ。
- ・日 時 平成30年10月14日(日)
平成31年 1月27日(日)
平成31年 3月23日(土)
- ・場 所 神奈川県総合医療会館
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 2人
- ・参 加 者 18人

④啓発事業

ア 学術集会

- ・内 容 第21回子ども虐待防止シンポジウム 学術集会
「改正児童福祉法第28条：日本におけるリーガル・ソーシャルワークの夜明け ～裁判所命令につながるか？ 米国の裁判所命令から学ぶ～」をテーマとして、子ども虐待対応における家庭裁判所の果たす役割の重要性を研修した。当法人正会員の中から実行委員を選出して企画運営を行った。経理は「平成30年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理した。
- ・日 時 平成30年11月17日(土)
- ・場 所 横浜シンポジア
- ・海外招請講師 Michele DesBrisay 氏：米国オレゴン州マルトノマー郡地方検事
- ・日本人講師 近藤 有希子氏：厚生労働省家庭福祉課虐待防止対策推進室 室長補佐
久保 健二氏：福岡市こども総合相談センター(福岡市児童相談所)
こども緊急支援課長、児童相談所 常勤弁護士

二宮 周平氏 : 立命館大学 法学部 教授
古泉 智浩氏 : 漫画家、特別養子縁組養親
山田 不二子 : CFJ 理事長

- ・従事者人員 20人
- ・対象者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者(約190人)
- ・参加者 90人(2日間の参加者実数; 92人、参加費納入者数101人)

イ パネル・ディスカッション

- ・内容 第21回子ども虐待防止シンポジウム パネル・ディスカッション
午前の部:「2か月を超える一時保護について、家庭裁判所が審査する制度が始まって見えてきた課題と将来像」
改正28条を運用してみた見えてきた課題と将来像」
「警察との全件情報共有は是か非か」
午後の部:「子どもを家庭に帰してあげるために、親に対してなすべきこと～裁判所命令の是非～」
「子どものためのパーマネンシー(永続的解決)と特別養子縁組」
- ・日時 平成30年11月18日(日)
- ・場所 横浜シンポジア
- ・パネリスト Michele DesBrisay 氏: 米国オレゴン州マルトノマー郡地方検事
久保 健二氏 : 福岡市こども総合相談センター(福岡市児童相談所)
こども緊急支援課長、児童相談所 常勤弁護士
二宮 周平氏 : 立命館大学 法学部 教授
古泉 智浩氏 : 漫画家、特別養子縁組養親
- ・座長 山田 不二子 (CFJ 理事長)
- ・従事者人員 18名
- ・対象者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者(約190人)
- ・参加者 86人(2日間の参加者実数; 92人、参加費納入者数101人)

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

- ・内容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予防教育プログラム等を神奈川県内の医療機関に広める神奈川県の事業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。
- ・日時 通年
- ・場所 鎌倉市医師会立産科診療所ティアラかまくら等、新規参画医療機関を支援した。
- ・従事者人員 4～6人
- ・対象者 指導者研修: 各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師

エ ニュースレターの発行

- ・内容 ニュースレターを発行した。

- ・日 時 年1回、平成30年10月（300部）
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 6～10人
- ・対 象 者 この法人の会員等、約230人

オ インターネット・ホームページの開設

- ・内 容 インターネット・ホームページを平成14年4月に開設し、今年度も継続した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 1人

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第24回学術集会・おかやま大会
パネル展示、公募シンポジウムへの参加

- ・内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)第24回学術集会・おかやま大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示し、電話相談員1名が公募シンポジウムに登壇した。
- ・日 時 平成30年11月30日(金)～12月1日(土)
- ・場 所 倉敷市民会館・川崎医療福祉大学
- ・従事者人員 1～3人
- ・対 象 者 JaSPCAN 第24回学術集会 おかやま大会の参加者

(2) 収益事業

①電話相談事業

ア 『虐待相談かながわ』

- ・内 容 電話相談員養成講座を受講した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。
- ・日 時 通年、週2回(原則として月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従事者人員 各回2～11人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等
各回0～4人、相談受理件数延べ40件

②研究・研修事業

ア 『虐待相談かながわ』 ケース・カンファレンス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日 時 月2回、原則として第一月曜日 午後3時～6時、第三水曜日午後6時～8時、ただし、司法面接・系統的全身診察が行われない場合は4時～6時
平成30年4月2日(月)、4月18日(水)、5月16日(水)、6月20日(水)、7月2日(月)、7月18日(水)、9月19日(水)、10月1日(月)

10月17日(水)、11月5日(月)、11月21日(水)、12月10日(月)、平成31年1月21日(月)、2月4日(月)、3月4日(月)、3月20日(水)、計16回

- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子 (スーパーバイザー)
- ・従事者人員 2～11人
- ・対 象 者 この法人の電話相談員6～11人

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施した。
- ・日 時 平成30年6月7日(木)：神奈川県伊勢原市
 - ・ 招聘元：伊勢原市
 - ・ 場 所：伊勢原市青少年センター
 - ・ 参加者：37名平成30年6月16日(土)、17日(日)：北海道函館市
 - ・ 招聘元：函館中央病院
 - ・ 場 所：函館中央病院
 - ・ 参加者：6月16日(土) 38名、17日(日) 28名平成30年7月27日(金)：京都府
 - ・ 招聘元：京都府家庭支援総合センター
 - ・ 場 所：京都府家庭支援総合センター
 - ・ 参加者：40名平成30年7月30日(月)：静岡県藤枝市
 - ・ 招聘元：藤枝市子ども家庭課
 - ・ 場 所：藤枝市役所
 - ・ 参加者：39名平成30年8月7日(火)、8日(水)：福岡県福岡市
 - ・ 招聘元：福岡市こども総合相談センター
 - ・ 場 所：福岡市こども総合相談センター
 - ・ 参加者：8月7日(火) 40名、8日(水) 40名平成30年8月9日(木)：富山県
 - ・ 招聘元：NPO 法人ハッピーウーマンプロジェクト
 - ・ 場 所：富山県民共生センター サンフォルテ
 - ・ 参加者：19名平成30年10月20日(土)：群馬県
 - ・ 招聘元：群馬大学医学部付属病院
 - ・ 場 所：群馬大学医学部付属病院
 - ・ 参加者：40名平成30年11月3日(土)：神奈川県平塚市
 - ・ 招聘元：社会福祉法人 進和学園
 - ・ 場 所：社会福祉法人 進和学園 進和万田ホーム

- ・参加者：39名

平成30年12月15日(土)：群馬県

- ・招聘元：群馬大学医学部付属病院
- ・場 所：前橋赤十字病院
- ・参加者：40名

平成31年1月19日(土)：岩手県

- ・招聘元：岩手県福祉総合相談センター
- ・場 所：岩手県福祉総合相談センター
- ・参加者：40名

平成31年2月2日(土)：高槻市

- ・招聘元：社会医療法人愛仁会 高槻病院
- ・場 所：社会医療法人愛仁会 看護助産専門学校
- ・参加者：40名

平成31年2月17日(日)：千葉県

- ・招聘元：NPO 法人千葉性暴力被害支援センターちさと
- ・場 所：千葉医療センター内 地域医療研修センター
- ・参加者：40名

平成31年2月22日(金)：沖縄県

- ・招聘元：沖縄県家庭相談員連絡協議会
- ・場 所：沖縄県総合福祉センター
- ・参加者：40名

- ・講 師 ChildFirst Japan RIFCR™ ファカルティ 各回3～4人
- ・従事者人員 6～7人 (このうち、3～4人はRIFCR ファカルティ)
- ・対 象 者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・参 加 者 各回19～40人 (延べ560人)

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC (Gundersen National Child Protection Training Center)が開発した ChildFirst® 司法面接プロトコルを多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)で構成された受講者に研修し、MDTの枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築する事業だが、平成30年度は ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修を開催しなかった。
- ・日 時 0回
- ・講 師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティ (ChildFirst® 司法面接研修 GNCPTC 認定トレーナー) 8人
- ・対 象 者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人

エ 出前型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、多機関連携チーム(MDT)を構成

する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター(CAC)職員等を対象として、MDTのあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指した。

- ・日 時 平成30年7月8日(日)
 - ・ 招聘元：横浜市児童相談所
 - ・ 場 所：横浜中央児童相談所
 - ・ 参加者：32名
 - 平成30年10月8日(月・祝)
 - ・ 招聘元：横浜市児童相談所
 - ・ 場 所：横浜中央児童相談所
 - ・ 参加者：10名
 - 平成31年 2月24日(日)
 - ・ 招聘元：医療法人きずな会 さめじまボンディングクリニック
 - ・ 場 所：医療法人きずな会 さめじまボンディングクリニック
 - ・ 参加者：61名
- 延べ受講者数 103人
- ・ 講 師 理事長 山田 不二子
 - ・ 従事者人員 1人
 - ・ 対 象 者 招聘元が招集した参加者

オ 『子どもの権利擁護センターかながわ』見学および研修

- ・ 内 容 『子どもの権利擁護センターかながわ』施設見学および研修
- ・ 日 時 平成30年4月19日(木)、5月21日(月)、5月31日(木)、8月10日(金)、11月29日(木)、12月7日(金)、平成31年2月1日(金)、2月21日(木) 計8回
- ・ 場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階
- ・ 従事者人員 各回1～3人
- ・ 参 加 者 児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察 他

③ 専門家派遣事業

ア 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・ 内 容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣した。
 - 東京医科歯科大学 医学部 医学科：公衆衛生学 学外実習
平成30年5月22日
 - 防府市子ども相談室：要保護児童対策地域協議会実務者レベル技術研修講師
平成30年6月10日
 - 横浜中央児童相談所：被害確認研修「面接者フォロー研修」講師
平成30年6月18日
 - 社会福祉法人 雲柱社：こども家庭相談研修 講師
平成30年6月19日

海老名市保健福祉部子育て相談課：海老名市要保護児童対策地域協議会 研修 講師
平成30年6月22日：
公益社団法人日本看護協会：SBSの予防看護職の役割 講義
平成30年7月2日
神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター：子ども虐待予防研修 講師
平成30年7月3日、10日、17日
神奈川県医師会保育園医部会：神奈川県医師会保育園医部会総会研修会
平成30年7月19日
神奈川県立平塚盲学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年7月20日
神奈川県立座間養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年7月23日
神奈川県立平塚聾学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年7月24日
神奈川県立神奈川工業高校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年7月25日
神奈川県立白山高校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年7月26日
神奈川県立みどり養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年7月31日
神奈川県立高津養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年8月2日
神奈川県 県民局 次世代育成課：SBS 予防プログラム医療機関講座 講師
平成30年8月10日、9月27日
尼崎市こども青少年部：児童虐待ホットライン・スクリーナー研修 講師
平成30年8月13日、14日
神奈川県立麻生高校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年8月22日
神奈川県立大師高校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年8月23日
神奈川県立茅ヶ崎養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年8月24日
神奈川県立川崎工科高校：県立学校人権教育校内研修会 講師
平成30年9月10日
神石高原町役場 子育て支援係：神石高原町子育て支援ネットワーク全体研修会 講師
平成30年9月28日
関東地方更生保護委員会：講師
平成30年10月11日
横浜市中央児童相談所：面接者フォロー研修 講師

平成30年10月15日
 株式会社 ラック：理事長インタビュー
 平成30年11月 1日
 函南町児童虐待等防止対策連絡協議会：児童虐待防止講習会 講師
 平成30年11月25日
 神奈川県立大和西高校：県立学校人権教育校内研修会 講師
 平成30年11月30日
 神奈川県立平塚養護学校：県立学校人権教育校内研修会 講師
 平成31年1月8日
 静岡県警察本部刑事部捜査第一課：静岡県警察学校検視実務専科生に対する
 講義 講師
 平成31年1月9日
 横浜市中央児童相談所：面接者フォロー研修 講師
 平成31年2月18日
 社会福祉法人 浜松市社会福祉事業団 相談支援事業所シグナル：講演会
 平成31年3月11日
 かわさきチャイルドライン：ボランティア養成講座
 平成31年3月24日

- ・場 所 招聘地
- ・講 師 この法人の役員または正会員
- ・従事者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が招集した参加者

イ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティを派遣した。
- ・日 時 平成31年2月
- ・場 所 京都市
- ・派 遣 者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティ
- ・従事者人員 1人
- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童

ウ 原稿執筆

- ・内 容 関東地方保護司連盟講演要旨(原稿)を作成した。
- ・日 時 平成31年1月
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従事者人員 1人

④意見書・鑑定書作成事業

- ・内 容 子ども虐待ケースについてのスーパーバイズ及び意見書を作成。

- ・日 時 今年度の実施はなかった。
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従事者人員 1人

⑤アナトミカル・ドール販売事業

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 当法人の事務所
- ・従事者人員 2～4人
- ・対 象 者 青森地方検察庁、名古屋地方検察庁

(3) その他の事業

①チャリティー事業

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を行う事業だが、平成29年度は、チャリティー・パーティーを行わなかった
- ・日 時 0回
- ・従事者人員 0人
- ・対 象 者 この法人の会員